

## 質疑応答(要旨)

Q1	LiB再生事業について質問です。 新たに開発した薬液循環工程を導入するために、いわき工場の稼働開始が2026年へ変更になるとのことでしたが、すでに導入が完了した設備は使用されなくなるということでしょうか？
A1	設備についての詳細な回答は差し控えさせていただきますが、基本的には既に導入した設備のうち、使用しない設備が発生することはない想定でございます。 そのため、今回のいわき工場の稼働時期変更に伴う大幅なコストの増加は発生しないものと認識しております。
Q2	LiB再生事業に関して、いわき工場の稼働開始後、いつ頃から売上や収益が発生する想定なのでしょうか？
A2	いわき工場につきましては、2026年中の竣工・稼働開始を予定しております。 稼働開始後は試験運転を行う予定であり、試験運転を経て本格的な稼働に移行する予定でございます。 売上や利益が発生する具体的なタイミングにつきましては回答を差し控えさせていただきます。
Q3	今期も引き続きLiB再生事業に対して積極的な投資を行い、費用が増えることで、減益となる業績予想であるとのことでしたが、収益確保のために取り組んでいる対応策などがあれば教えてください。
A3	2024年9月期の LiB再生事業における研究開発費は、前期と比較して増加する見通しではございますが、事業化後に十分に回収可能であると試算して投資を行っております。 収益確保のための対応策といたしましては、既存事業での貴金属の取り扱い数量の増加や製造コスト低減に向けた効率化施策に取り組むとともに、当社のリチウムの精製技術を活かした炭酸リチウムの販売量の増加に取り組んでおります。
Q4	12月に新たに末代氏が社外取締役役に就任される予定であることを「お知らせ」にて確認しましたが、末代氏は経営にどのように関わっていくのでしょうか。
A4	社外取締役には主に取締役会を通して、客観的な立場から当社の経営を監督していただいております。 就任予定の末代氏は、電子部品製造装置メーカーの業務執行者としての豊富な経験と企業経営に関する幅広い知識を有しているため、経営全般の監督と有益な助言を行って頂くことを期待しております。

## (ご留意事項)

この資料は、当社説明会にご参加できなかった方のためのご参考として掲載しているものであり、説明会でお話した内容をそのまま文章に起こしたものではありませんことをご了承ください。